

高圧マトリクスコンバータ FSDrive-MX1の開発で 「平成21年度電機工業技術功績者表彰」の 最優秀賞を受賞

当社の「高圧マトリクスコンバータFSDrive-MX1の開発」が、社団法人日本電機工業会（JEMA）主催の「平成21年度電機工業技術功績者表彰」の最優秀賞を受賞しました。

この「電機工業技術功績者表彰」は、JEMAが昭和27年以来毎年1回、新製品・新技術などの優れた成果を挙げた功績者を表彰するもので、今年度で第58回目を迎える表彰制度です。



表彰式

高圧マトリクスコンバータ
FSDrive-MX1



今回受賞した当社開発の高圧マトリクスコンバータFSDrive-MX1は、世界で初めて直列多重マトリクスコンバータ方式を採用した製品であり、交流電源から任意の電圧・周波数に直接変換することで、あらゆる用途に適用できる高圧可変速ドライブ装置です。

このたびの受賞は、永年の大きな課題であった「高い可変速運転性能」と「入出力波形の低歪化」の両立を、マトリクスコンバータの直列多重化技術により解決し、画期的な高圧可変速ドライブ装置を世界で初めて実用化することに成功した点を評価いただきました。この開発により、産業用プラント設備の大幅な省エネ・高性能化・高速化が可能となり、今後の高圧可変速ドライブ装置の更なる適用拡大が期待される点も評価され、受賞につながりました。

■お問合せ先: システムエンジニアリング事業部
システム工場 技術管理課 Tel.(0930)23-1422 Fax.(0930)25-8072

第10世代液晶ガラス基板搬送ロボット MOTOMAN-CDL3000Dの開発で 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の 「技術業績賞」を受賞

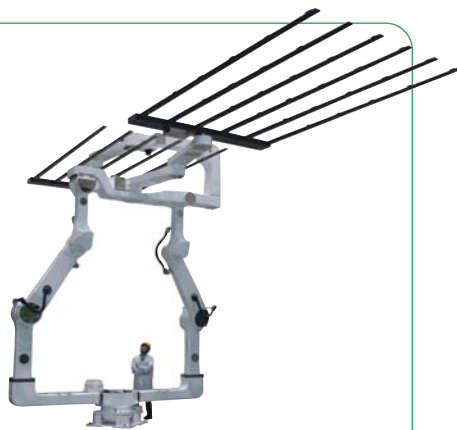
当社は、第10世代液晶ガラス基板搬送ロボット「MOTOMAN-CDL3000D」の開発で、2009年5月に日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の「技術業績賞」を受賞しました。

この賞は、ロボティクス・メカトロニクス分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体に贈られるものです。



表彰式

第10世代液晶ガラス
基板搬送ロボット
「MOTOMAN-CDL3000D」



第10世代液晶ガラス基板搬送ロボット「MOTOMAN-CDL3000D」は、液晶薄型テレビの生産性向上のために大形化が進む液晶ガラス基板を搬送するロボットです。3m×3mという、大形第10世代液晶ガラス基板搬送に対応するため、世界初、独自技術である「昇降ダブルリンク式支柱」を採用し、世界トップクラスの高速・高精度・安定搬送を実現したところに高い評価をいただきました。

5月25日に、福岡国際会議場で開催された「ROBOMEC2009」会場内で表彰式が執り行われました。表彰式には当社の利島社長が出席し、続く特別講演では、「次世代ロボットの実現にむけて一産業界の視点から」をテーマに講演をいたしました。また、会場内企業展示コーナーにはSmarIPal-Vを出展し、多くの方々にご来場いただきました。

■お問合せ先: 東京総務部 広報グループ Tel 03-5402-4564 Fax 03-5402-4580